

総合分析

試験区分 一般 (前期)

制限時間 100分 大問数 全3問

合格に要する能力 (5段階)



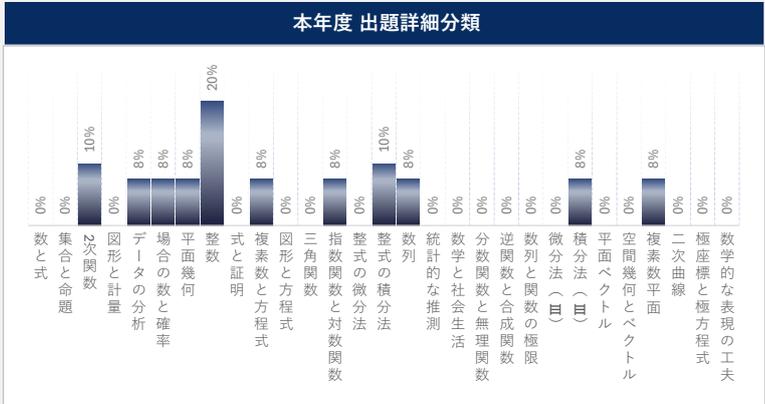
合格に要する能力 (5段階)		
計算力	3.5	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.6	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.8	解くことに必要な知識の量
初手力	3.6	初手の難しさ
見極力	4.1	解きやすい問題を選択する力

特記事項 大問1(7)は問題設定が不明瞭

出題分野	
数学 I	18%
数学 A	35%
数学 II	25%
数学 B	8%
数学 III	8%
数学 C	8%

本年度 解答形式	
マーク	60%
論述	40%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	小問集合
第2問	2曲線の共通接線
第3問	不定方程式



特殊問題の有無	記述あり	証明なし
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価					
難度	3.6	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	66%
分量	100分	完答に要する時間 (制限時間は100分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る 大学が求める学生像

小問集合で幅広い分野から出題され、穴のない学習が必要となる。何かに特化するのではなく、しっかりと幅広い知識を持っている学生を求めていると考えられる。